

## ケータイ・スマホのトラブルから子どもたちを守る

坂出市立坂出中学校

### 保護者に責任の自覚を促す

坂出中学校では、スマホ・ゲーム機等に関する生徒へのアンケート調査を行い、その結果を保護者や生徒への働きかけに生かしています。

26年度の調査では、半数以上の生徒がLINEなどの無料通信アプリを利用していることや、フィルタリングをかけて機器を使用している生徒は半数以下にとどまることなどが分かりました。

この結果を踏まえて、平成27年度のPTA活動方針に、インターネットなどにおける有害情報対策として、次の5項目を盛り込み、4月の総会で、PTA会長の北山博昭さん（さぬきっ子安全安心指導員）から「買い与える保護者の責任」を自覚してほしいと呼びかけました。

- 1 学校には携帯電話・スマートフォンなど（以下、携帯・スマホなどと標記）を持ち込まない。
- 2 21時以降の携帯・スマホなどの使用は控える。
- 3 フィルタリングをかける。
- 4 携帯・スマホなどの家庭での使用ルールを話し合っ決めて。
- 5 携帯・スマホなどを持たせていない生徒には、中学卒業まで持たせない。



北山さんによる生徒への啓発・指導

27年度の調査では、スマホ・ゲーム機の利用時間を決めている生徒が21%だったことなど、家庭でのルールづくりが不十分であることが分かったので、生徒自身が「私のスマホの使い方宣言」というルールを決めて、冬休み中に実践するよう働きかけました。

今後は、新入生周知会で保護者や児童に対し、安易に購入したり、ルールを決めないまま使用したりしないよう啓発するとともに、校区内の小学校にも中学校と同じ取組みをしてもらえるよう働きかけていくことにしています。